

# 島根大学 支援基金だより

Vol.5  
2019 Oct.



人とともに 地域とともに  
国立大学法人  
島根大学



島根大学は2019年度に  
開学70周年を迎えます。

## 理事・副学長 (学術研究・イノベーション創出担当) からのご挨拶



学術研究・イノベーション創出 担当理事  
秋重 幸邦

### ベンチャースピリットを育む

日頃より、多くの皆さまに「島根大学支援基金」へご協力とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

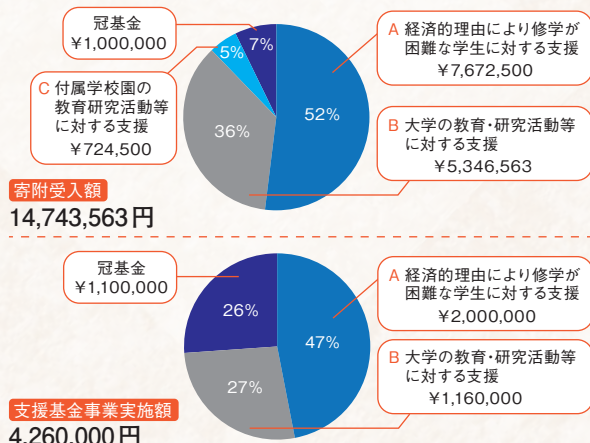
ご存知のように、本学は、内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」事業「先端金属素材グローバル拠点の創出-Next Generation TATARA Project-」(島根県が申請、平成30年10月採択)に、中心メンバーとして参画しています。本事業は、金属材料分野における世界最高水準の教育・研究拠点を形成し、世界に伍する地域産業として「先端金属素材の聖地・島根」の創出を目指すもので、地元企業やオックスフォード大学などと連携しながら進めるビックプロジェクトです。本学にとっても、かつてない挑戦となっています。国立大学を取り巻く状況が厳しさを増す中、本学の生き残りをかけた事業ですので、私も老体に鞭打って全力で取り組んでいます。

本学では、こういった新たな挑戦をしている中、同じように自分の夢に挑戦する学生を支援する制度を多数設けています。その中の1つとして、私が所掌する支援基金事業の「島根大学発学生ベンチャースタートアップ奨励金」では、皆さまからいただいたご寄附により、学生ベンチャー起業を志す学生を支援しています。学生が挑戦できる環境を作り、一歩を踏み出す支援をすることは、大学の重要な役割であると思います。平成30年度には2団体の挑戦を支援することができ、今年度も、前年度と同様に100万円を予算計上しております。この奨励金によって本学における学生のベンチャースピリットを育てていきたいと考えています。

今後もチャレンジ精神あふれ、地域・社会で活躍できる人材を輩出していきます。皆さまにおかれましては、支援基金の趣旨をご理解いただき、引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。

## 平成30年度支援基金 決算報告

### ●決算概要



※寄附受入額に対し、支援基金事業実施額が小さいのは、支援基金事業を安定的・継続的に実施していくために、一定額を財源として確保しているためです。

### ●支援基金事業実施額

事業名	事業内訳	支援人数	金額
A 経済的理由により修学が困難な学生に対する支援	夢チャレンジ奨学金	10	200万円
B 大学の教育・研究活動等に対する支援	グローバルチャレンジ奨学金	20	110万円
	長期インターンシップ支援金	2	6万円
C 附属学校園の教育活動等に対する支援	-	-	-
冠基金	学生ベンチャー支援奨励金	2	100万円
	医学部医学科病理学講座奨励金	2	10万円

より詳細な内訳等は以下のURLに掲載しております。

支援基金HP  
<https://www.fund.shimane-u.ac.jp/>



## 支援学生の声

自然科学研究科 藤村 健吾さん

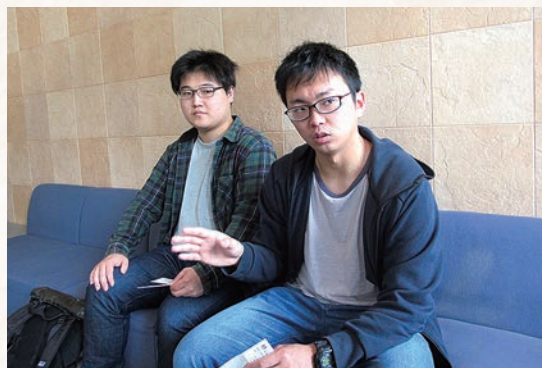
私たちは、ゲームの作成、販売、それに伴うプログラム教育を目的とした企業を目指して準備しています。現在は、パソコンやスマートフォン用オープンソース型ゲームを開発しています。山陰を題材にしているため、遊びながら山陰の文化を知り、プログラミングを学べるゲームです。

以前ゲーム制作に取り組んでいた時は、デザインを制作することが難しく、また資金不足から必要な開発機を購入できず、開発途中で断念せざるを得なくなりました。そんな時に、支援基金事業の「学生ベンチャー支援奨励金」の支援をいただいたおかげで、デザインをプロのクリエイターに依頼するとともに、必要な開発機材を購入することができました。今は、学生ベンチャー



支援金で購入できた開発機で作業中

奨励金」の支援をいただいたおかげで、デザインをプロのクリエイターに依頼するとともに、必要な開発機材を購入することができました。今は、学生ベンチャー



シマッドのメンバーの川口さん(左) 藤村さん(右)

「シマッド」として再出発しています。

そんな私たちの最終目標は、第2・第3のシマッドを作ることです。私たちは、島大で学んだプログラミングの知識を活かしてゲームを作っています。それを島大の後輩が知ることによって、「自分にだってできるかも」と思ってもらいたいです。そしてこのゲームを知った中高生が「島大へ入学して勉強してみたい」と思ってもらえることが目標です。

皆さまにはご支援いただき誠にありがとうございました。

## 感謝状贈呈

### 島根大学支援基金へのご寄附に対する感謝状贈呈を行いました

本学は、平成31年4月11日、島根大学支援基金（教育学部附属学校園の教育研究活動等に対する支援）に多額のご寄附をいただいた株式会社日新様への感謝状贈呈を行いました。感謝状贈呈は、本学支援基金担当理事藤田達朗が、島根県合板協同組合を訪問して執り行い、株式会社日新 代表取締役社長又賀航一様（島根県合板協同組合 代表理事）、島根県合板協同組合 専務理事 吉岡延夫様にご出席いただきました。



感謝状贈呈後の歓談では、又賀様より、基金を活用した教育学部附属学校園の取組みに期待するとの激励をいただくなど、支援基金の意義を改めて確認する機会となりました。



株式会社日新 代表取締役社長 又賀航一様(中央右)  
島根県合板協同組合 専務理事 吉岡延夫様(右)  
島根大学 基金担当理事 藤田達朗(中央左)  
島根大学 総務部長 岩倉禎尚(左)

いただいた寄附金は、株式会社日新様のご意向を受けて、教育学部附属学校園の木育施設の整備に活用させていただきます。